

大東市上下水道局お客さまセンターに係る業務委託総合評価第2回審査委員会要点録

- 日時 令和5年10月16日（月）14時～17時
- 場所 大東市上下水道局灰塚配水場管理棟3階大会議室
- 出席者 委員長および委員、事務局

（会議の案件）

- ①業務評価の採点について
- ②価格評価について
- ③落札予定者の決定について
- ④その他

（会議の要点）

①事務局より

7月24日の入札公告にて2者の応募があり、両者とも参加資格を満たしている。後日提出された業務提案書について、本日、業務評価を行っていただく。

評価項目の1. 会社概要、財務状況については、財務分析をより正確に判断するため、公認会計士に依頼し、事務局案として提案するが、最終的には各委員にて判断をし、採点していただく旨の説明。

委員→「事業規模が元々違うのに、大きさを判断するのはどうか。公認会計士の数字の上での判断でいいのか？」

事務局→事務局案は、参考として提案しており、最終判断は、各委員で採点して頂きたい。

評価値算出表に基づき、項目ごとに質疑応答及び採点をする。

各委員から以下の質問があった。

委員→「評価項目2. 業務実績の中で5万世帯以上の実績があるとのことだが、そういう資料をもらってないようだが。」

事務局→申し訳ございません。最初の入札参加資格に給水戸数5万戸以上の水道事業において、1年以上の元請実績があることを条件としており、2者ともにクリアしている。

第一環境株式会社は、業務提案書の2-4に給水人口が載っている。

委員→「評価項目6. 量水器の点検（検針）業務のなかでスマートメーターの提案があったが、制作業者のメリットであって、局のメリットがあるのか」。

事務局→スマートメーター導入は、大きな自治体が試験的に導入しているのが現状である。やはりコスト面が厳しいのが一番大きい。

委員→「実現可能な提案であれば、素晴らしい提案だが、なかなか難しい。」

委員→「評価項目17. 緊急時等危機管理のなかで、大東市指定管工事業協同組合は、給水車は持っていないのか」。

事務局→大東市指定管工事業協同組合は、所有していない。本市に1台保有している。第一環境株式会社は、全国に13台所有している。

事務局→質疑応答が終わり、各委員に最終の採点をして頂く。

②事務局より

価格評価についての説明。予定価格は、579,440,000円、調査基準価格が、347,660,000円
開札結果

(1)大東市指定管工事業協同組合 549,200,000円

(2)第一環境株式会社 579,100,000円

両者ともに予定価格と調査基準価格の範囲内である。落札者決定基準価格評価算出により、

(1)大東市指定管工事業協同組合 70点

(2)第一環境株式会社 66点となったことの報告。

③事務局より

(1)大東市指定管工事業協同組合 価格評価点 70点、業務評価点 230点、合計 300点

(2)第一環境株式会社 価格評価点 66点、業務評価点 211点、合計 277点

大東市指定管工事業協同組合が最高評価値の業者に決定。

委員の全員賛同により決定。

④事務局より

今後の予定として、落札決定通知の郵送及び審査結果の公表をホームページで行い、契約締結後に大東市情報公開条例に基づき、総合評価審査委員会での会議録の要点をホームページにて公開する旨の説明。